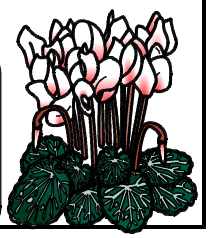
令和４年度　小中野小学校　学校だより　第９号　　令和４年１１月２９日

ちぐさ咲く　みち

シクラメン



子どもが育つ魔法の言葉

校 長　花 生　典 幸

『**子どもが育つ魔法の言葉**（ドロシー・ロー ノルト著／ PHP 文庫）』という本をご存じでしょうか。

世界２２カ国で愛読され，日本でも１２０万部を超えるベストセラーとなった，〈子育てのバイブル〉ともいわれる本です。子育てでもっとも大切なことは何か，どんな親になればいいのかというヒントが，この本の中にたくさんちりばめられています。

いくつか紹介してみましょう。

・寛大な家庭で育った子どもは，がまんするようになります。
・批判されて育った子どもは，人をけなすようになります。
・正直な家庭で育った子どもは，誠実になります。
・いがみあう家庭で育った子どもは，人と争うようになります。
・嘲笑を受けて育った子どもは，臆病になります。
・安心できる家庭で育った子は，自らを信じ，人をも信じられるようになります。
・公明正大な家庭で育った子どもは，正義感をもつようになります。
・励まされて育った子どもは，自信を持つようになります。
・ほめられて育った子どもは，感謝するようになります。
・和気あいあいとした家庭で育った子どもは，この世の中はいいところだと思えるようになります。

いかがでしょう。読んでみて，なるほどと感じたり，思わずドキッとさせられたり……どれもみなシンプルな言葉で綴られていますが，なかなかに奥が深いですよね。わたしも自分を振り返って，反省させられる思いに，しばし心が揺れました。

親は，子どもにとって，人生で最初に出会う，最も影響力のある，いわば「お手本」といえます。子どもは，毎日の生活の中で，よいことも悪いことも，まず親から吸収していきます（「子は親の鏡（鑑）」という格言のとおり）。

上の項目一つ一つを見渡してみると，子育てをする（わたしたち教師の場合は，子どもを指導する）ことは，とりもなおさず，**親自身（教師自身）が，その人格を，その接し方の善し悪しを，子どもとの距離感の取り方を通して問われている**のだ，ということが切々と感じられるように思いますが，いかがでしょう。

今年のカレンダーも，いよいよ残すところあと一枚。学習のまとめをしっかり行い，気持ちよく冬休みを迎えられるよう，子どもたちを励ましてまいります。